

「甲府市上下水道事業経営戦略」推進に向けての提言

令和2年6月

甲府市上下水道事業推進会議

○はじめに

上下水道事業は、人口減少や水需要の減少する中であって、老朽施設の更新や災害に備えた耐震化などの諸課題に対応し、将来にわたって安定したサービスの提供を継続することが求められており、これまで以上に中長期的な経営の基本となる計画が重要となっています。

甲府市では、国の新水道ビジョン、新下水道ビジョンなどを踏まえる中で、上下水道事業に対する「お客様満足度調査」の結果や、第三者機関からの提言、答申などを反映させた「甲府市上下水道事業経営戦略（2018年度～2027年度）」（以下「経営戦略」という）を2017年度（平成29年度）に策定しました。

この経営戦略の着実な推進を図るとともに、常に変化する社会の状況に応じた経営戦略とするため、経営戦略のスタートの年に「甲府市上下水道事業推進会議」が設置され、約2年間にわたり、経営戦略の内容や実施状況の理解とともに、市民と一体となった上下水道経営に関する議論を重ねてまいりました。

この経営戦略は事業が開始されてまだ時間が短いために、本会議としてはその内容理解がまず必要でした。その中で、改めて多岐にわたる上下水道に関わる業務内容を理解するとともに、経営戦略策定の重要性を理解できました。現状では、この経営戦略に沿って事業を着実に進めていただくことが第一と考えますが、一方で、より強化を図る必要があると判断された、いくつかの事業もありました。ここでは、経営戦略における経営方針の概略を記載しつつ、特に強化してほしい事業内容を記載することで、『「甲府市上下水道事業経営戦略」推進に向けての提言』として取りまとめました。

この提言が経営戦略の推進に活かされることにより、市民との信頼関係を大切にし、安定した事業経営に努めていただくことを期待いたします。

令和2年6月23日

甲府市上下水道事業推進会議
会長 風間ふたば

1 経営戦略の経営理念等について

(1) 経営理念

甲府市の上下水道事業では、その経営理念を『お客様との信頼関係を大切にし、将来にわたり「水」を通じた潤いのある生活環境を、安全・安心のもと安定的に提供し続けます。』と掲げています。

市民との信頼関係の構築は、事業推進上の最も重要な項目であることから、上下水道事業に関わる情報を効果的にかつ、わかりやすく発信する必要があります。時代の変化を考慮して、より広い層にアピールする工夫を強く求めます。

また、上下水道事業を安全・安心のもと安定的に継続するためには、技術や経営ノウハウの継承・向上に努めるとともに、これまでとは大きく異なると予想されている時代の到来にむけて、様々な状況に置かれる市民の立場を想像し、物事に柔軟に対応できる人材を育成しておかなければなりません。この点も考慮して、従来の方方法にとらわれることなく、必要とされる有能な人材を育成する努力の継続を求めます。

(2) 進捗管理

経営戦略は、「第六次甲府市総合計画」を最上位計画とし、国のビジョンなどを踏まえた中長期的な基本計画となっており、期間は10年間で、具体的な事業を取りまとめた「戦略推進計画」は3年間とし、毎年度見直しを行うこととなっています。

こうしたことから、「戦略推進計画」の進捗管理として、各年度の9月末現在で中間評価を行うとともに、年度終了後に、終了年度の事業評価等を行い、次年度以降の戦略推進計画に反映するシステムが構築されております。

今後もPDCAサイクルを基本に適切な進捗管理を行うとともに、内部的な評価だけでなく、適切な時期に外部の意見等を聴き、その意見等を反映させていく仕組みを継続させる必要があります。

2 経営戦略の着実な推進に向けて

(1) 水道事業経営戦略

5つの経営方針「①安全でおいしい水道(安全)、②災害に強くしなやかな水道(強靱)、③将来に繋げる水道(持続)、④お客様満足度の高い水道(信頼)、⑤環境に配慮した水道(環境)」のもと、13施策を設定し、第3次戦略推進計画(2020年度～2022年度)においては、32事業を推進することとしています。

いずれの事業も経営戦略に沿って進められることを望みます。特に良質な水質を持つ甲府市の水道水であることを、より強く市民に伝える工夫を求めます。さらに、良い水質を維持するための水源林の保全や環境保全を市民と一体となって行うことで、市民が守り育てる水道水であると認識できるよう、各種行事においてもアンケートを実施するなど参加者の意見も汲みつつ、新たな活動の展開を求めます。

また、各種災害時における水道水の確保策や、漏水調査の努力の実態なども、より広く市民に伝えることを期待します。

(2) 下水道事業経営戦略

4つの経営方針「①災害に強く快適な下水道(安全・強靱)、②将来に繋げる下水道(持続)、③お客様満足度の高い下水道(信頼)、④環境に配慮した下水道(環境)」のもと、11施策を設定し、第3次戦略推進計画(2020年度～2022年度)においては、34事業を推進することとしています。

水道事業と同様に、いずれの事業も経営戦略に沿って進められることを望みます。特に下水道は、大雨時の都市部の排水や、地域河川の水質保全に大きな役割を担うとともに、昨今は社会で問題となる細菌やウイルスの存在を検知できる一つのモニタリング地点としても注目されるようになってきました。多くの資金が必要とされている実態も含めて、下水道の仕組みやその機能、また下水道事業で払われている多くの努力について、新たな手法を工夫しながら広く市民に伝える必要があります。

(3) 財政収支見通しについて

地方公営企業は、企業の経済性の発揮と公共の福祉の増進を経営の基本原則としており、その経営に要する経費は、経営に伴う収入（料金、使用料）をもってあてるといふ、いわゆる独立採算制となっています。

甲府市においては、水道料金及び下水道使用料は、今後も減収傾向が続くことが予想される中、老朽施設の更新や災害に備えた耐震化が必要であり、今後多額の費用が見込まれていますので、計画的かつ効率的な事業運営による経費の節減とともに、補助金や企業債の有効活用などの財源の確保が必要となります。

特に、水道料金及び下水道使用料については、長期的な視点も踏まえ、継続的に検討し、適正な設定を行う必要がありますが、その際にも市民の理解と協力が得られる上下水道となっている必要があります、ここでも広報活動の重要性が指摘できます。

○おわりに

甲府市の上下水道事業は、水道給水開始から100年以上、下水道供用開始から50年以上と長きにわたり最も重要なライフラインとして市民生活を支えており、今後も安全・安心のもと安定した事業経営が継続されていく必要があります。

今回の提言が、有効に活用され、経営の基本となる「経営戦略」及び具体的な事業を取りまとめた「戦略推進計画」が着実に推進されることを願っております。

甲府市上下水道事業推進会議 委員名簿

(順不同：敬称略)

会 長 風間 ふたば 山梨大学 副学長

副会長 塩谷 知則 東京地方税理士会 山梨県会 副会長

委 員 落合 圭子 山梨県弁護士会 弁護士

委 員 石山 宏 山梨県立大学 国際政策学部 教授

委 員 野村 千佳子 山梨学院大学 経営学部 教授

委 員 遠山 忠 山梨大学大学院 総合研究部 准教授

委 員 相澤 康雄 甲府市自治会連合会 副会長

委 員 中島 智子 甲府市小中学校 PTA 連合会 会長

(前委員 佐野 誠 甲府市小中学校 PTA 連合会 会長)

(前委員は委嘱当時の役職名)

甲府市上下水道事業推進会議 開催概要

区分	開催年月日	会議の内容等
第1回	平成30年8月3日	上下水道事業概要について 「甲府市上下水道事業経営戦略」について 「第1次戦略推進計画」について
第2回	平成30年12月5日	戦略推進事業及び重要業務指標（KPI）の中間報告について （第1次戦略推進計画） 水道事業の有収率向上対策について
第3回	平成31年2月28日	第2次戦略推進計画（案）について 下水道事業の有収率向上対策について
第4回	令和元年7月30日	第1次戦略推進計画の進捗状況について（事業評価、重要業務指標 の実績評価、施策総合評価等） 耐震化について（水道管路の耐震化、下水道施設の地震対策）
第5回	令和元年11月29日	第2次戦略推進計画の進捗状況（中間評価等）について お客様満足度調査の結果概要について 第3次戦略推進計画の策定に向けて
第6回	令和2年2月28日	第3次戦略推進計画（案）について 経営状況について
第7回	令和2年5月27日	第2次戦略推進計画の進捗状況について 提言（案）について
	令和2年6月23日	提言